2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	メディカルトレーナー演習Ⅱ(ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎4階実技室
担 当 教 員	井上　佳子	実務経験とその関連資格	JSPO-ATとしてスポーツ整形外科リハビリテーション科で運動指導を6年間経験			

《授業科目における学習内容》

運動療法・疾病予防における運動処方プログラムの内容を包括的に学習し、各症例に関しての適切な対処法を理解できるようになる

《成績評価の方法と基準》

1:定期試験(70%)
2:平常点(10%)
3:出席点(20%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

その都度必要資料を教員が配布する

《授業外における学習方法》

事前に次の週に学ぶ疾患について教科書にあらかじめ目を通すことで、大枠を理解することが出来るようになる

《履修に当たっての留意点》

運動療法の基礎から、疾患別の注意ポイントなどケーススタディーをしながらすすめていきます。運動処方が理解できるようになるところを到達ポイントとします。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	膝靭帯損傷に対する運動療法について理解できるようになる		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	膝靭帯損傷に対する運動療法について理解できるようになる		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	膝靭帯損傷に対する運動療法について理解できるようになる		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	膝靭帯損傷に対する運動療法について理解できるようになる		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	骨折に対する運動療法について理解できるようになる		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	肥満に対する運動療法について理解できるようになる		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	糖尿病に対する運動療法について理解出来るようになる		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病に対する運動療法について理解できるようになる		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	消火器疾患の運動療法について理解できるようになる		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各種疾患・障害に対する運動療法・運動処方の実践が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	うつ状態の方への運動療法について理解できるようになる		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	頭部・脳・血管系の事故についての運動療法について理解できるようになる		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	心・血管系の事故についての運動療法について理解できるようになる		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	運動器の事故についての運動療法について理解できるようになる		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	運動療法、運動処方に伴う事故の事例と法的問題について理解できるようになる		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	指導・管理上の注意点、工夫など理解できるようになる		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	メディカルトレーナー演習Ⅱ(ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎4階実技室
担 当 教 員	井上　佳子	実務経験とその関連資格	JSPO-ATとしてスポーツ整形外科リハビリテーション科で運動指導を6年間経験			

《授業科目における学習内容》

運動療法・疾病予防における運動処方プログラムの内容を包括的に学習し、各症例に関しての適切な対処法を理解できるようになる

《成績評価の方法と基準》

1:定期試験(70%)
2:平常点(10%)
3:出席点(20%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

その都度必要資料を教員が配布する

《授業外における学習方法》

事前に次の週に学ぶ疾患について教科書にあらかじめ目を通すことで、大枠を理解することが出来るようになる

《履修に当たっての留意点》

事前に次の週に学ぶ疾患について教科書にあらかじめ目を通すことで、大枠を理解することが出来るようになる

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	救急処置・救命処置に必要な備品、薬品について理解できるようになる		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法・運動処方のための安全管理が出来るようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	運動施設における救急搬送の実態について理解でいるようになる		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ストレッチングについて理解できるようになる		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ストレッチングについて理解できるようになる		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動について理解できるようになる		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動について理解できるようになる		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動について理解できるようになる		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ウィーキングについて理解できるようになる		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ウィーキングについて理解できるようになる		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ウィーキングについて理解できるようになる		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ウぉーキングについて理解できるようになる		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	ウぉーキングについて理解できるようになる		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	水中運動について理解できるようになる		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	靴の選び方について理解できるようになる		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	基本の運動指導内容と注意点を理解できるようになる	適宜参考資料を配布	前回の復習と次回の範囲資料にあらかじめ目をとおしておく。
		各コマにおける授業予定	運動療法にかんするまとめについて理解できるようになる		